

記入例

※必ずボールペン又はインク等で記入し、消せるボールペン等は使用しないで下さい。

交通事故申立書

住所

氏名

八戸市駅前5丁目5-5

交災 花

生年月日

明・大・昭・平

11年 1月 20日（19歳）

事故発生年月日

平成 30年 4月 15日

午前 午後 2時 10分頃

事故発生場所

八戸市内丸1丁目1-1 ○○銀行付近市道

自動車安全運転センターの交通事故証明書がない理由

単独の転倒で、警察に届け出なかったため。

受傷者の事故態様

運転中（車種： 自転車 ）

同乗中（車種： ）

*運転中又は同乗中の場合は車種を記入

歩行中・その他

未成年者の場合も必ず記入してください。

受傷者が「運転中」である時、下の欄を記入して下さい。
（自転車の場合も飲酒の有無を○で囲んで下さい。）

飲 酒

有 ・ 無

免許証

有 ・ 無

免許証番号

免許証の種類

車両番号

排気量

CC

自賠責保険契約会社

自賠責保険証明書番号

相手方の事故態様

歩行中 ・ その他（ ）

*運転中の場合は車種を記入

運転中（車種： ）

事故現場見取図

受傷者の車両

相手方の車両

△△ビル

←○○駅

○○通り

□□銀行

駐車場

事故現場が特定できるよう、近隣の建物等詳細を記入してください。

事故状況（詳細にご記入下さい）

銀行の駐輪場から出ようとしたところ、ハンドル操作を誤って縁石に乗り上げてしまい転倒した。左腕を強打したが、その日は痛みが少なかったためそのまま帰ったが、数日後に痛みが強くなってきたため病院へ行った。

※転倒した場合、転倒した理由もご記入ください。

私の事故は、上記記載のとおり事実に相違ありません。

平成 30 年 8 月 12 日

氏 名

交災 一郎

交災 花

（受傷者が未成年の場合は親権者との連名で記入して下さい）

上記申立てに相違ないことを証明します。

平成 30 年 8 月 13 日

証明者

住 所

八戸市駅前2丁目12-2

電 話

0178-01-1234

氏 名

交通 次郎

（証明者が未成年の場合は親権者との連名で記入して下さい）

※証明者は受傷者との利害関係の無い第三者に限ります。

受傷者との関係

目撃者 ・ 同乗者 ・ 勤務先 ・ その他

友人

この証明書が事実と相違しているときは見舞金の返還を請求されても異議ありません。

平成 30 年 8 月 13 日

見舞金受領権者氏名

交災 一郎

（見舞金請求者と同じ）

青森県交通災害共済組合管理者 殿

上記のとおり確認したことを証明します。

平成 年 月 日

青森県交通災害共済組合 支部

支部長

印